

肺がん検診では、
二重読影が国の基準で
定められています。*

2人の医師が、別々にチェック。

胸部レントゲンのフィルムは、
2人の医師がじっくり調べることになっています。
これが、肺がんの影を見落とさないために
国の基準で定められた、二重読影です。

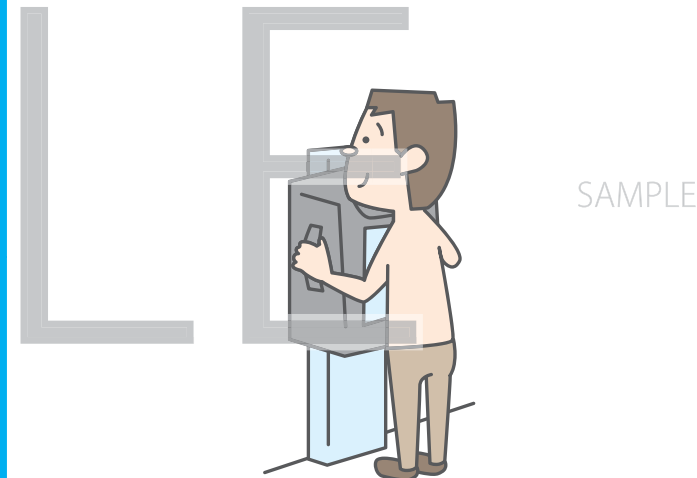
SAMPLE
肺がん死の
2人にひとり、
たばこが原因とは
いえません。

SAMPLE
一年に
5分
ください。



たばこを吸わなくても、
肺がん検診を。

SAMPLE
自己負担は1,000円です。



二人の医師が、
じっくり診ます。

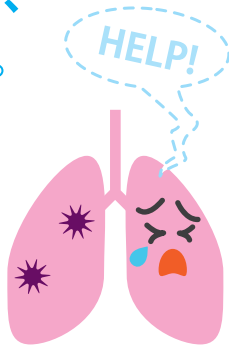
SAMPLE
市の特定健診と一緒に受けられます。

※ 厚生労働省「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」

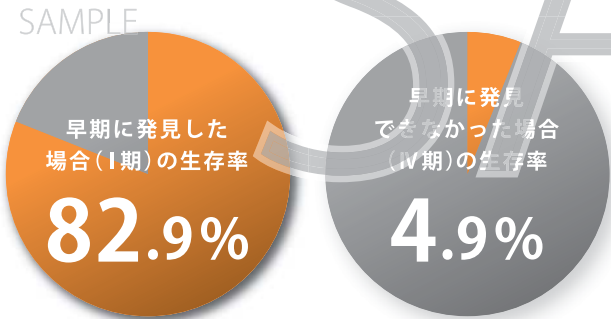
※ 5分とは、レントゲン検査にかかる時間です。

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

とくに肺の奥にできるがんほど、咳や痰などの症状が出にくく、気づきにくいのが特徴です。自覚症状がないので、初期の肺がんは検診でなければほとんど見つかりません。

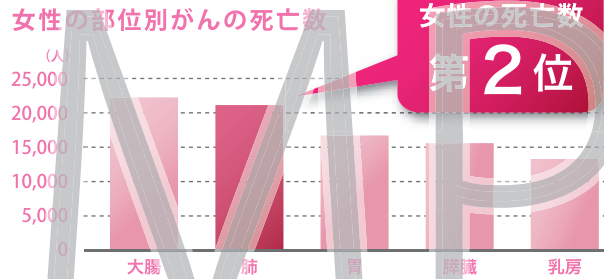
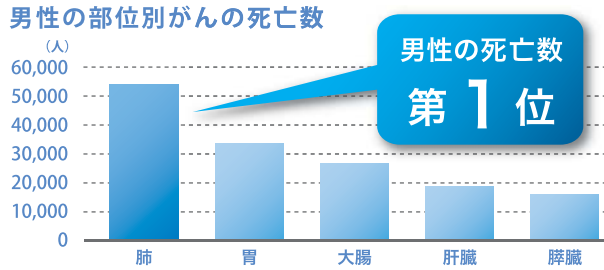


早期に発見すれば、生存率が高いがんです。*



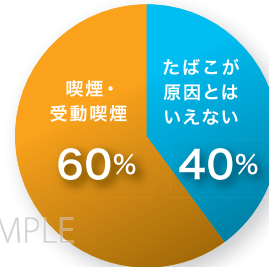
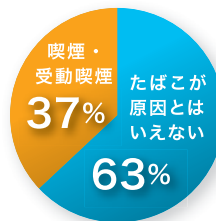
早期に発見するために、自覚症状がなくても検診を受けることを強くお勧めします。

肺がんは、死亡数が男女合わせていちばん多いがんです。



肺がん死の2人にひとり、喫煙者でも受動喫煙者でもありません。*

女性だけでは…



* Inoue M et al. (Ann Oncol 2012;23:1362-1369)をもとに研究班が推計

このリーフレットは、国立がん研究センター保健社会学研究部が作成しました。

検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

同封の一覧表をご覧ください。

2. 受診

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容

- ・問診
- ・胸のレントゲン撮影
- ・喀痰(かくたん)細胞診(問診により必要な方のみ)

3. 結果

約2～3週間後に自宅に郵送されます。

検査結果を確認してください。

■ 対象者：〇〇市在住の40歳以上の方

■ 受診期間：平成〇〇年〇月〇日～平成〇〇年〇月〇日まで

肺がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

お問い合わせ先

〇〇市〇〇部〇〇課
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

※ここでいう「生存率」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。出典：全がん協加盟施設の生存率共同調査(2004～2007年全症例)